

# 仕事と育児の両立支援

【両立支援】

少子高齢化が進行する中で、子育て期等でいったん就業を中断した女性が再度の就業することが相対的に難しい実態がある。

こうした実態を反映して、例えば、子育てについては、多くの女性から子育て支援に関する情報提供、企業や地域との関係づくり等、企業や地域において仕事と家庭との両立支援のための制度の構築や環境整備が求められている。

## 両立支援

### 中小企業少子化対策融資制度

・中小企業が従業員向けの両立支援のための環境施設整備を実施する場合の融資制度。

企業内託児所



### サービス産業生産性向上支援調査事業

・保護者や働きながら育児を行う従業員を抱える企業等のニーズを踏まえ、NPO・民間企業・病院等多様な主体の連携によるコンソーシアムが新たな育児関連サービスを提供する事業を支援。

### 少子高齢化等対応中小商業活性化事業

・商店街振興組合等が取り組む少子高齢化、安全・安心等に関する商業施設の整備事業に対する補助。

空き店舗を活用した保育サービス



### 中小企業少子化対応経営普及事業

・出産後も安心して仕事に職場に復帰できるように、中小企業における仕事と育児を両立するために必要なベストプラクティスマニュアルをもとにマネジメント手法の導入を支援するため普及を図る。



商店街

# 両立支援(その1)

## 企業の両立支援環境の整備に係る金融支援

中小企業金融公庫や国民金融公庫による次の融資制度の創設。

### 中小企業少子化対策融資制度

平成19年度 財投(新規)

対象:従業員が仕事と育児の両立をしやすい環境の向上に資する施設等の整備(改善・改修を含む)を行う者

内容:設備資金や長期運転資金等に対して低利融資を実施。

#### 中小公庫

【貸付限度額】直接貸付:7.2億円以内(うち、長期運転資金:2.5億円以内)

【貸付利率】設備資金:特利1(ただし、2.7億円を限度) 運転資金:基準金利

【貸付期間】設備資金15年以内(据置措置2年以内)、運転資金7年以内(据置措置1年以内)

#### 国民公庫

【貸付限度額】直接貸付:7.2千万円以内(うち、運転資金:4.8千万円以内)

【貸付利率】設備資金:特利1、運転資金:基準金利



# 両立支援(その2)

【両立支援】

## 少子高齢化等対応中小商業活性化事業

平成19年度要求額 32.9億円の内数  
〔平成18年度予算額 28.9億円の内数〕

**対 象:**商店街のにぎわいを創出しようとする商店街振興組合等

**内 容:**次の施策を講じて、商店街のにぎわいを創出し、その活性化を支援する。

### 【施設整備事業】

・少子高齢化、環境保全、安全・安心、防犯、防災等のために、商店街振興組合等が一体となってアーケードやバリアフリー型カラー舗装等の商業基盤施設等を整備する事業(直接補助:補助率2分の1)。

### 【支援事業】

・少子高齢化、環境保全、安全・安心、防犯、防災等のために、商店街振興組合等が一体となって空き店舗を活用した保育サービス施設や高齢者交流施設等のコミュニティー施設を設置・運用する事業(直接補助:補助率2分の1)。

## サービス産業生産性向上支援調査事業

平成19年度予算額 一般会計 23.0億円の内数(新規)

**対 象:**育児関連サービスを目指す保育所・NPO・民間企業・病院等のコンソーシアム

**内 容:**保護者や働きながら育児を行う従業員を抱える企業等のニーズを踏まえ、多様な主体の連携によるコンソーシアムが新たな育児関連サービスを提供する事業を支援。

### 【支援事業】

事業者サポート型サービス(育児支援事業者をサポートするサービスの提供)

企業支援型サービス(企業等の従業員向け育児支援をサポートするサービスの提供)

新機軸型サービス(事業革新を通じた新しいサービスの提供)

## 空き店舗を活用した保育サービスの例

〔東京都 練馬区栄町本通り商店街(江古田ゆうゆうロード)の取組(例)〕

**街中に親子拠点、親子づれが集うにぎわいのある街づくりを展開。**

空き店舗を有効に活用し、商店街とNPO法人とが連携して、「子育て支援施設 ゆうゆうぼてと」を開設。

商店街の空き店舗を利用し、一時預かり保育や夜間保育、出張保育等の保育サービスや学童保育などを実施。

また、地域に住む妊娠時、出産後のお母さんのために家事援助サービス等の産褥サービスなどを実施。

マスコミでクローズアップされ、来街者が増加。住みやすい地域として街が活性化。



〔徳島市 籠屋町商店街の取組(例)〕

**親子交流施設の開設により親子連れの来街者が増加。**

商店街のにぎわいを取り戻すため、商店街振興組合が事業主体となり、近隣の7商店街と共同で「子育てほっとスペース(すきっぷ)」を設置。

保育士を含む2名以上のボランティアが常駐。絵本の読み聞かせや子育ての情報を発信(徳島子育て通信)。運営はNPOに委託。

マスコミでクローズアップされ、来街者が増加。商店街が活性化。



# 両立支援(その3)

【両立支援】

## 中小企業少子化対応経営普及事業

平成19年度要求額 0.9億円  
 (平成18年度予算額 0.9億円)

内容:

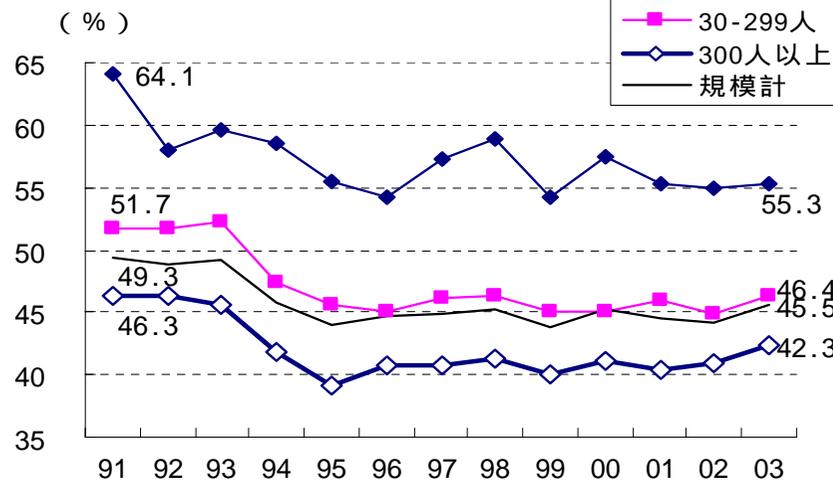
少子化等の対応経営を実施している中小企業における少子化対応のベストプラクティスマニュアルを作成するとともに、各地の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会に配置されている指導員等を活用し、中小企業への普及・啓発を図る。

他のモデルとなるような少子化対応経営を実施している中小企業や有識者をパネリストとしたシンポジウムを全国主要都市で開催し、その普及を図る。

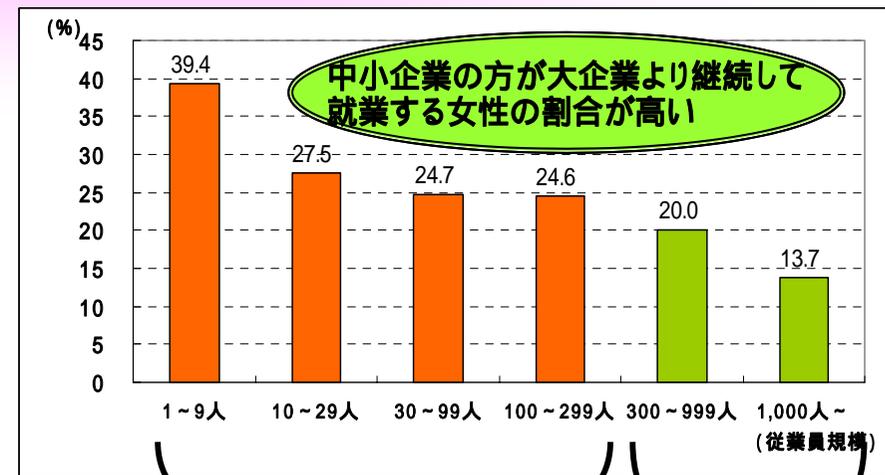
(注)

我が国において、少子化が進展していく中で、産業界においても積極的な少子化への対応が必要となっている。子育て期においていったん就業を中断した女性が再度就業等を行うことが相対的に難しい実態がある一方で、中小企業では、第1子出産前に仕事についていた女性のうち、出産後も継続した者の割合( )が高いという実態がある。

女性採用比率（企業従業員規模別）



女性の企業継続の就業割合



中小企業

大企業